

公表

放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果

事業所名	こどもデイサービス ジャンケンぼん
------	-------------------

公表日 R7年2月1日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	法令を遵守したスペースを確保しています。また、天井も高く、快適に過ごせる環境を整え、お子様が安全に過ごせるように配慮しています。	-
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	法令で必要とされる配置数に加え、指導員を1名以上配置しています。また、おでかけなどの屋外活動には、人員配置を多めにして安全に配慮しています。	-
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0	出入り口及び通路に段差はなく、トイレは洋式トイレで引き戸にするなどのバリアフリーを行い、快適にご利用いただける環境を整えています。また、ロッカーや下駄箱、タオルかけには名札を付け、わかりやすく表示しています。指ハサミ防止ストッパー等を取り付けて安全対策も実施しています。	-
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	サービス提供終了後にトイレやフロアなどの掃除を行い、使用したマットや療育玩具などは必ず消毒をしています。また、整理整頓や活動に合わせてレイアウト変更をするなど、快適に過ごしていただけるよう環境を整えています。	-
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	子ども達の状況に応じて、個別の部屋を使用するようにしています。	-
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	0	全職員で問題点の把握に努め、計画し、実行することで改善を行っています。	-
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	毎年12月にアンケート調査を実施しています。貴重なご意見や自己評価の結果を真摯に受け止め、改善に繋げる努力をしています。	-
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	普段から意見等を聞くようにすることや面談を実施して、業務改善に繋げる努力をしています。	-
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	7	-	現在は行っていないため、今後検討していきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	外部講師による療育の研修を3か月に1回行うことや応急救手等の講習への参加、法人内の虐待やBCP、感染症研修等を行い、支援の質の向上に努めています。	-
支援体制	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	支援プログラムを作成し、ホームページに公開しています。また、ジャンケンぼん通信で作成・公表をしています。	-
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	6ヶ月に一度またはその他必要に応じて、アセスメントを行い、個別支援計画を作成し支援を行っています。その際、ケース会議を行い、保護者様とお子様のニーズや課題に合うよう目標設定を心がけています。また、お子様のニーズや課題等を共有できるよう保護者様と話す時間を大切にしています。	-
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	支援者会議を開催し、職員で検討をしながら個別支援計画書（放課後等デイサービス計画）を作成しています。	-
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	個別支援計画を職員全員で共有し、お子様の特性や課題に合う活動内容や学習内容を検討し、支援を行っています。	-
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	モニタリング、支援者会議、個別支援計画書などの様式を整えて、状況を把握するように努めています。	-
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	アセスメントをしてお子様の特性や課題、ニーズなどに合うように具体的な支援を計画し、職員で共有して支援を行っています。	-

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	お子様の課題やニーズ、興味に合うプログラムを話し合っています。今年度は、お買い物学習をする店舗を増やしたり、警察署による交通安全教室の開催をしています。	-
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	お子様の特性や課題に合う活動内容を毎回検討しています。初詣や夏祭り、おたのしみ会など季節ごとの活動や曜日固定のご利用の場合でも毎週異なるプログラムを楽しんでいただけるように工夫しています。	-
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	小さな変化を見逃さず、必要に応じてアセスメントを行い、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて個別支援計画を策定しています。特に個別活動の重要性を考え、支援しています。	-
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	支援開始前には打ち合わせをして、支援内容や役割分担を確認しています。	-
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	支援終了後にはその日の振り返りを行い、気づいた点や反省、課題等を話し合い、職員で共有しています。また、保護者様からいただいた要望等も共有し、改善に努めています。	-
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	連絡帳やケース記録に記録し、支援の検証や改善に努めています。	-
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	6ヵ月に一度以上モニタリングを行い、計画の見直しを行っています。	-
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	7	0	クッキングや工作、体操、楽器等の活動を通して、楽しみながら自立や創作、趣味や興味をもって参加できるようにしています。また、公園や買い物、地域のお祭りに参加して地域との交流の機会が増えるようにしています。	-
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0	社内で意思決定支援の研修を実施し、子ども達が自己選択できる機会を増やしながら自己決定をすることが出来るように工夫をしながら支援を行っています。	-
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	職員全員でお子様の状況を把握し、児童発達支援管理責任者が参画しています。	-
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	4	保育園や学校等と送迎時に共有したり、担当者会議等で情報共有しながら支援をするように努めています。	医療機関や障害福祉機関等とも連携するに検討してまいります。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0	学校の年間計画・行事予定等はホームページで確認をしています。利用開始前に学校に連絡し、送迎場所や時間、対応方法の確認をしています。	-
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	0	保護者様や相談支援専門員と連携しながら、保育園等、ご家族様、市町の福祉課職員等と担当者会議を開くなどして情報共有等を行っています。	-
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	5	移行の際には相談支援専門員と連携しながら、情報提供や共有をしています。	職員会議等で移行支援をした内容等を周知してまいります。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパー・バイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0	7	現在は児童発達支援センターとの連携や助言を受けておりません。	必要に応じて児童発達支援センター等と連携するなど検討してまいります。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	5	2	放課後児童クラブや児童館との交流はほとんどが、近くの公園等に行き、障がいのない子ども達と遊ぶ機会が増えるようにしております。	保護者様等からの希望が少ないといため、現在は行っておりませんが、必要と判断した場合は計画し実施します。
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	6	1	扶桑町自立支援地域協議会（こども部会）や江南市の障害児等療育支援事業の保育園登園協会に参加しています。	今後も自立支援地域協議会等や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加してまいります。
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	連絡帳の記載や送迎時等で積極的にお子様の様子を伝えることや聞くことで、共通理解に努めています。	-
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	7	-	ペアレント・トレーニングは行ってはいませんが、保護者様との面談等で助言やケア等をしています。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	ご契約時や面談時に説明をしております。また、変更等がある場合にはその都度説明をさせていただいております。	-

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
保護者への説明等	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	児童発達支援計画を作成する際には、自宅や学校等の様子を伺い、意向を確認しながら作成をしています。	-
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0	今後も「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明をしてまいります。	-
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	悩みごと等の相談がある場合には、面談を行うことや送迎時に話を伺い、保護者様の支援につながるように助言を行っています。	-
	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	5	今年は活動参観日を設け、多くの保護者様に参加していただき、お子様の活動の様子を観ていただきました。	今後もより保護者様同士の連携が出来るよう検討し、実施してまいります。
	41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	保護者様には契約時に説明を行っています。また、苦情窓口を設置し、玄関口に「苦情申出窓口の設置について」のお知らせを掲示し、周知しています。苦情解決マニュアルを作成し、苦情が寄せられた場合は迅速かつ的確に対応できる体制を整えています。	-
	42 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	年3回のじゃんけんぽん通信を発行し、活動の様子などの情報を発信しています。また、インスタグラムを開設し、より多くの情報を伝えられるように取り組んでいます。	-
	43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	保護者様には契約時に説明を行い、法令順守に努めています。個人情報に関する書類は鍵付きの書棚に保管し、収集・作成・保管・廃棄を適切に行っています。また、利用時には連絡帳等を渡し間違いのないように気付けています。	-
	44 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	主に絵カードや50音表を用いる等、一人ひとりの障害特性に合わせた支援を心掛け配慮しています。	-
	45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	7	-	今年度は開催していませんが、開催した場合は地域の方のご招待を検討しています。また、見学はどなたでも可能としています。
非常時等の対応	46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	各種マニュアルを作成し、ホームページ上やファイルに綴じて職員や家族が閲覧出来るようしています。じゃんけんぽん通信やinstagramで研修・訓練の様子やマニュアルを作成したことを伝えています。	-
	47 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他の必要な訓練を行っているか。	7	0	各種マニュアルを作成し、ホームページへの公開やファイルに綴じて閲覧することが出来るようになります。自然災害や感染症の研修や訓練を年2回実施しています。	-
	48 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	契約時に服薬などの配慮すべきことを確認しています。また、保護者様からてんかん発作などの状況を伝えてもらい、子どもの状況を把握し、対応できる体制を整えています。	-
	49 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	契約時にアレルギーの有無について確認し、一覧表を作成して職員間で共有しています。おやつやクッキングの活動時、お弁当を提供する際にはダブルチェックをしています。	-
	50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	安全計画を作成し、社内で安全管理に関する研修の実施や消防署の応急手当講習の受講、警察署による交通安全教室の実施をしています。また、事業所内外の安全点検や食物アレルギーの確認等を実施しています。	-
	51 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0	安全計画をホームページに公表し、「じゃんけんぽん通信」で伝えています。また、契約時やモニタリング時等で保護者様に説明し、周知しています。	-
	52 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	ヒヤリハット報告書を作成し、職員間で共有することで、同じことが起らないように改善に努めています	-
	53 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	虐待防止委員会を設置し、研修計画を立て、研修を実施しています。また、社内の虐待研修以外に尾張北部権利擁護支援センターに研修を依頼し、実施しています。	-
	54 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0	「身体拘束等適正化のための指針」を作成し、身体拘束等適正化検討委員会を設置しています。現在、身体拘束は行っていませんが、身体拘束を行う場合には、委員会で検討し、保護者様から同意を得た上で個別支援計画書に記載します。	-